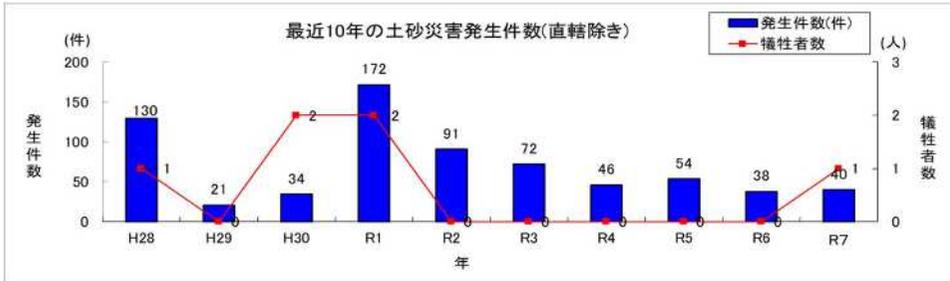




近年の豪雨等に対する砂防関係施設の整備効果

■被害の実態

最近10年（平成28年～令和7年）において、年平均70件の土砂災害が毎年発生。
最近10年に発生した土砂災害による犠牲者は6名。



■施設効果事例

【施設効果事例】

土石流等：平成28年，平成30年，令和4年，令和7年
がけ崩れ：令和2年（2回），令和3年，令和4年，令和7年

砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し人家・避難所・緊急輸送道路を保全(鹿児島県始良市)

発生箇所：鹿児島県始良市平松
発生日時：令和7年8月8日5時頃
降雨状況：連続雨量518mm 時間最大雨量107mm ※始良雨量観測所
施設概要：平松谷砂防堰堤(平成8年完成)
効果：令和7年8月7日からの大雨により斜面崩壊が発生したが、砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し、人家8戸と、始良10と国道10号方面をつなぐ県道(緊急輸送道路)、小学校(指定緊急避難場所)、文化財等への被害を防いだ。

■始良市・平松谷

令和7年8月豪雨の時に、斜面崩壊が発生したが、砂防堰堤が土砂や流木を捕捉し、下流への被害を防いだ事例でござる！



■霧島市・南園地区



令和7年8月豪雨の時に、がけ崩れが発生したが、斜面対策が行われていたことにより、周辺人家等への被害を防いだ事例でござる！

急傾斜地崩壊防止施設ががけ崩れを防止し人家等を保全(鹿児島県霧島市)

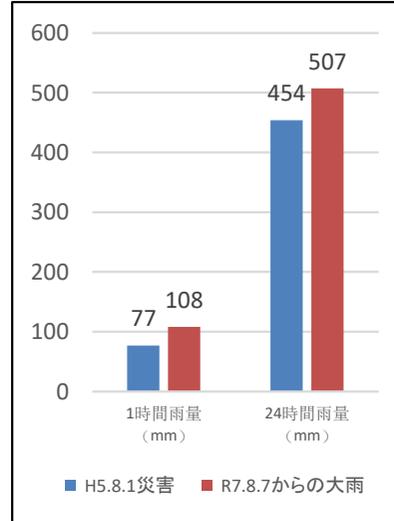
発生箇所：鹿児島県霧島市福山町福山字南園
発生日時：令和7年8月8日3時頃
降雨状況：24時間雨量 555mm 時間最大雨量 75mm ※福山雨量観測所
施設概要：南園地区急傾斜地崩壊防止施設(平成2年完成)
効果：令和7年8月7日からの大雨によりがけ崩れが発生したが、隣接の人家裏は斜面対策(法除工・湧石防護柵)が行われており、土砂や倒木の被害から人家及び市道を保全した。

■整備効果

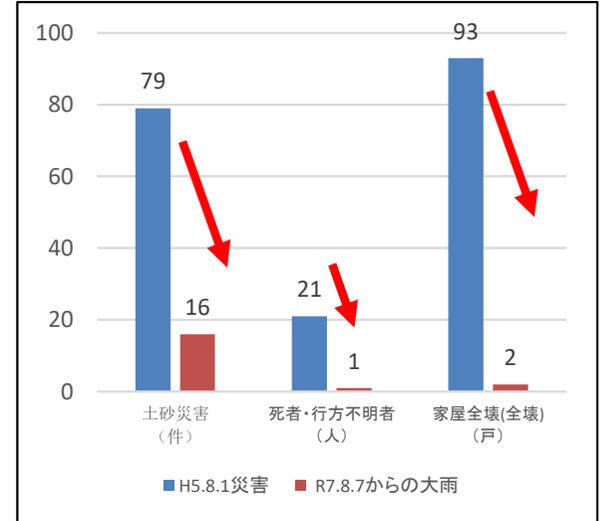
1993年(平成5年)の鹿児島豪雨災害や2006年(平成18年)の鹿児島県北部豪雨災害を受けて、大きな被害を受けた地域等に砂防関係施設を重点的に整備してきた結果、土砂災害の発生件数及び被害が減少。

【平成5年8.1災害と令和7年8.7からの大雨における降水量と被害状況の比較】

■降水量(観測所：溝辺)

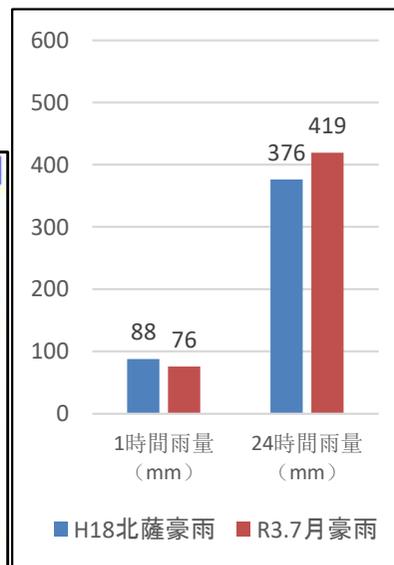


■被害状況

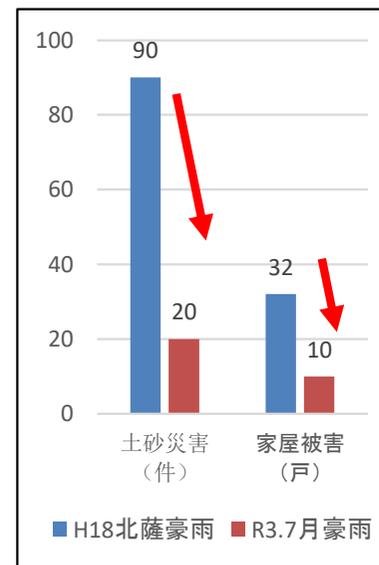


【平成18年北薩豪雨と令和3年7.9からの豪雨における降水量と被害状況の比較】

■降水量(観測所：さつま柏原)



■被害状況



過去と比較して、同程度か、それ以上の雨が降っているが、土砂災害発生件数や被害は減少しているでござる！

